

(2) 令和2年度月別の気象概況

4月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、はじめと中頃に低気圧や前線の影響で曇りや雨の日があった。また、9日も気圧の谷や湿った空気の影響で降雨があった。</p> <p>中旬：低気圧と高気圧が交互に通過し、数日の周期で天気に変化した。13日及び18日は前線を伴った低気圧の影響で大雨となった。</p> <p>下旬：前半は西高東低の気圧配置で後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、寒気の影響で雨や雷雨となった日があった。また、日平均気温は低い日が多く、かなり低い日もあった。</p>
5月	<p>上旬：高気圧や低気圧が交互に通過し、周期的に変化した。気温の変動が大きく、前半を中心に暖かい空気に覆われてかなり高い日があったが、中頃は寒気の影響で気温の低い日があった。</p> <p>中旬：中頃までは高気圧や低気圧が交互に通過し周期的に変化した。期末は低気圧や寒気の影響で雨や曇りとなった。期間の中頃までは暖かい空気に覆われて気温が高く、かなり高い日もあった。</p> <p>下旬：初めは湿った空気や寒気の影響で雨の日が続いたが、その後は周期的に変化した。気温は全般に高い日が多かったが、期間の初めは寒気が流れ込みかなり低い日があった。</p>
6月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、本州の南に停滞した前線上の低気圧や気圧の谷の影響で期間の初めと中頃は雨や雷雨となる日があった。期間を通して暖かい空気に覆われたため、気温のかなり高い日が多くなった。</p> <p>中旬：梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、大雨の日があったが、期間の中頃は高気圧の影響で晴れの日もあった。</p> <p>下旬：梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。</p>
7月	<p>上旬：梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が続いた。</p> <p>中旬：梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。</p> <p>下旬：梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が続いた。</p>
8月	<p>上旬：太平洋高気圧に覆われ概ね晴れたが、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りの日もあった。</p> <p>中旬：太平洋高気圧に覆われて概ね晴れたが、気圧の谷や湿った空気の影響で雨や雷雨となった日もあった。期間を通して暖かい空気に覆われたため、気温のかなり高い日が続いた。</p> <p>下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、日中の昇温などにより大気の状態が不安定となり、雷を伴った雨の降った日もあった。</p>
9月	<p>上旬：期間のはじめと中頃は、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、雷雨の日もあったが、期間の終わりは、高気圧に緩やかに覆われて概ね晴れた。</p> <p>中旬：高気圧に覆われ晴れた日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。</p> <p>下旬：中頃までは前線や台風第12号の影響で雨や曇りの日が多くなったが、期間の終わりは高気圧に覆われ晴れた日もあった。</p>
10月	<p>上旬：期間の中頃までは、高気圧に覆われ晴れの日もあったが、前線や気圧の谷の影響で曇りの日が多くなった。期間の終わりは前線や台風第14号の影響で雨となり、大雨の日もあった。</p> <p>中旬：前半は湿った空気や気圧の谷、後半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。</p> <p>下旬：移動性高気圧や冬型の気圧配置により、晴れや曇りの日が多くなった。21日夜から23日にかけて、低気圧や前線の影響で雨が降った日があった。</p>

11月	<p>上旬：前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなったが、冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日もあった。なお、4日は、季節風が強まり、東京地方では3年ぶりに「木枯らし1号」が吹いた。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。</p> <p>下旬：冬型の気圧配置や移動性高気圧により晴れの日が多くなったが、期間の中頃には関東の南岸を通過した低気圧の影響で曇りや雨の日もあった。</p>
12月	<p>上旬：大陸から張り出す高気圧に覆われて晴れの日もあったが、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨となった日があった。</p> <p>中旬：気圧の谷の通過で曇った日もあったが、冬型の気圧配置が続き、晴れの日が多くなった。</p> <p>下旬：低気圧や前線の影響で曇りや雨となった日もあったが、大陸から張り出す高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。</p>
1月	<p>上旬：期間の中頃に気圧の谷の影響で曇りとなった他は、冬型の気圧配置が続き晴れの日が多くなった。</p> <p>中旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われ晴れの日が多くなったが、低気圧や気圧の谷の影響で雨やみぞれの日もあった。</p> <p>下旬：冬型の気圧配置が長続きせず、低気圧や前線と高気圧が交互に通過し天気は数日の周期で変化した。</p>
2月	<p>上旬：期間のはじめに前線の影響で雨となったが、その後は冬型の気圧配置となることが多く晴れの日が続いた。</p> <p>中旬：期間の初めは高気圧に覆われて晴れや曇りの日が多くなり、期間の中頃には低気圧の影響で大雨となったが、低気圧通過後は期間の終わりにかけて、冬型の気圧配置となり晴れの日が多くなった。</p> <p>下旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われる日が多く、概ね晴れた。</p>
3月	<p>上旬：周期的に変化し晴れの日があったが、曇りや雨の日もあった。</p> <p>中旬：期間のはじめに低気圧の影響で大雨となったが、期間を通して高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。</p> <p>下旬：低気圧と高気圧が本州付近を交互に通過したため、数日の周期で変化した。期間の初めと終わりは低気圧の影響で大雨となった日があった。また、暖かい空気に覆われる日が多く、気温がかなり高くなった。</p>